

# OB会通信

2014年度 第一号  
大阪府立大学陸上競技部

拝啓

梅雨明けも間近になり、暑さが日ごとに増してまいりました。OB・OGの皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たち陸上競技部員は、来る対抗戦の勝利や各選手権大会に向け、一丸となって日々練習に励んでおります。

さて、この度は4月3日から4日にかけて行われた大阪インカレ、4月19日に行われた三大戦、5月7日から10日にかけて行われた関西インカレの結果について報告させていただきます。

敬具



三大戦集合写真（金岡陸上競技場にて） 2014年4月19日

# 目次

## 1. 主将あいさつ

## 2. 主要試合結果報告

第62回大阪学生陸上競技対校選手権大会

第59回大阪三大学対校陸上競技大会

第91回関西学生陸上競技対校選手権大会

## 3. その他の試合結果

## 4. 今後の目標と反省

# 1. 主将あいさつ

OB通信ではじめて接点をもつOB・OGの方もいらっしゃると思いますので、この場をもってあいさつをさせていただきます。はじめまして。今年1年間主将を務めさせていただくことになりました山口裕太です。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今回の第1回OB通信は大阪インカレ、大阪三大学対校戦、関西インカレを中心にご報告させていただきます。来たるシーズンでの全員の自己ベスト更新に向けて選手、マネージャーともに力を合わせ、各パート長が試行錯誤して組んだメニューを全員でこなし、厳しい冬季練習をしっかりと乗り越えてきました。毎年恒例の香川県の丸亀で行う大阪市立大学、和歌山大学との合同合宿に、今年は関西外国語大学も参加しました。大人数での練習で切磋琢磨しあい、とても有意義なものになりました。シーズンに入って初の対校戦である大阪インカレでは、追い風参考ながらも短短パート長の嶋田（3）の自身初となる10秒台で府大歴代1位相当の記録が生まれるなど、冬季練習の成果が短距離を中心に見受けられました。

その後の大阪三大学対校戦では自己ベストを出した人は少なからずいましたが、上位に入賞できた選手が少なく、2年連続の男子総合3位、女子総合3位という結果に終わってしまいました。長距離2種目で5位、6位になってしまうなど、ランキングを覆せなかった、あるいはランキングより順位を落としてしまった種目が多々見られました。選手の層が薄いのもですが、勝ちにこだわりすぎ、陸上を楽しむほどの余裕が心に全くなかったことが今回の敗因だったと思われます。そして、ヤンマースタジアム長居（旧長居第一競技場）で開催されました関西インカレでは、山口（3）の400mHや星合（3）のやり投で4年ぶりに自己ベストを更新するなど、多くの選手が自己ベスト、またはそれに近い記録を出しており、また4×100mRで府大歴代2位、4×400mRで府大歴代1位を出すなど善戦しましたが、まだまだ関西で戦えるレベルではなく、今年は表彰台に誰も乗ることができませんでした。また、男子総合得点では昨年を大きく下回る19点で11位という結果に終わってしまいました。出場者が少ないのもそうですが、昨年度卒業された田中さんの走高跳や内賀嶋さんの100mHのように安定して高得点を獲得してくださる方がおられなくなったのが今回の総合得点の低下の大部分を占めていると思われます。来年は一人でも多くの選手が表彰台に乗れるように、入賞して得点を稼ぎにいけるようにチーム全体で頑張ります。

また、このたび一回生に2年ぶりにフィールド選手ややる気に満ちた子たちが入ってきてくれました。新入生も含め、これからのシーズンもチーム一丸となって努力し、戦っていきますので、今後も府大陸上部を見守ってくださるよう、どうぞよろしくお願いいたします。

文責 山口 裕太（3）

## 2. 主要試合結果報告

☆は自己ベスト、★は大学ベスト

### 第62回大阪学生陸上競技対校選手権大会

4月3日～4日 ヤンマーフィールド長居  
グランドコンディション

4月3日 晴れ 24.4℃

4月4日 晴れ 18.5℃

### 男子100m

倉本 惇嗣 (3) 予 11" 68 (-0.2) (6着)

嶋田 祥久 (3) 予 11" 37 (-1.9) (1着)

準 10" 81 (+5.2) (4着)

西田 大 (2) DNS

倉本(3)は思うようなレースが出来ず、不本意な結果であった。嶋田(3)は前半スタートを失敗したが、後半追い上げ、準決勝にコマを進めた。しかし、準決勝では思うような走りができず、まずまずの結果であった。両選手まだまだこれからと思われる春先の試合であったが、これからの試合に向けて課題が見えたようであった。

文責 太田 智子 (2)

## 男子200m

嶋田 祥久 (3)	予	22" 27	(+1.5) ☆	(4着)
	準	22" 79	(-2.9)	(7着)
高田 昌人 (3)	予	22" 22	(+1.8) ☆	(3着)
	準	22" 55	(+0.9)	(7着)
西田 大 (2)	DNS			

嶋田(3)はスタートから一気に加速し、自己ベストを更新し準決勝に進んだ。高田(3)は残り120mあたりから徐々に前との距離を詰め、こちらも自己ベストで準決勝に進んだ。準決勝では両選手とも疲労が見られ、更なる記録更新、決勝進出とはならなかった。

文責 武田 匠平(2)

## 男子400m

大村 駿弥 (3)	予	50" 81	☆	(5着)
高田 昌人 (3)	予	49" 42		(1着)
	決	51" 21		(第5位)
吉田 拓 (2)	DNS			

400mには大村(3)と高田(3)が出場した。大村は前半で少し苦しい展開となったものの、後半に粘りの走りを見せ自己ベストを叩き出した。高田は、予選では2着の選手と競ったが、持ち前の後半の強さで振り切り見事決勝に進出した。決勝では、この日4×400mリレーと合わせて3本目の400mということもあり、体力の限界を迎え思うようなレースをすることができなかった。それでも5位をもぎとり、府大の得点獲得に貢献した。

文責 中山 正哉(2)

## 男子800m

中野 友揮 (4)	DNS			
伊藤 駿 (3)		2' 00" 32		(4着)

伊藤(3)は前半から快調なペースで入り、先頭集団についていく形で1周目を回った。しかし、ラスト200mから他の選手のスパートに対応できず、差を詰めることができないままゴールした。今回のレースを糧に今後の活躍に期待したい。

文責 武田 匠平(2)

## 男子1500m

大松 達也 (3) 4' 58" 79 (12着)

西川 亮 (3) 4' 19" 24 (7着)

二本松 立朗 (3) 4' 18" 50☆ (5着)

強風が吹き荒れる中、第1組の大松(3)は、1周目のペースを維持することができず、自分の思うように走ることができなかった。第2組の西川(3)は集団の先頭付近に付くが、800m過ぎでトップ争いから離されてしまい、本人も納得できない結果となった。二本松(3)はペースを抑え気味にスタートし、1人ずつ追い上げるレースを展開。終盤に粘りを見せ、自己ベストを更新するも、関西インカレB標準を切れず悔しそうであった。

文責 三上 賢吾(2)

## 男子5000m

小槻 日出夫 (4) 16' 48" 07 (6着)

勝見 涼一 (3) 16' 57" 16 (8着)

三上 賢吾 (2) DNS

小槻(4)は3000mまでを安定したペースで刻むが、3000m~4000mにかけて一気にペースダウン。ラスト1000mは持ち前の粘り強さで何とか持ち直したが、悔いの残るレースとなった。勝見(3)は、序盤は快調かに見えたが、2000m以降はペースが乱れ、本来の力を出し切ることができなかった。今回のレースの反省を糧に、さらに力をつけることに期待したい。

文責 大住 陽香(2)

## 男子10000m

勝見 涼一 (3) 35' 45" 73 (23着)

三上 賢吾 (2) DNS

勝見(3)は、序盤は快調に飛ばすが、徐々にラップを落とし、1人で走る苦しい展開を強いられた。最後の1000mはペースを少し持ち直したが、自己ベストには届かず悔しい結果に終わった。試合後には自分の走りをしっかり見つめ直す姿勢が見え、今後への期待を感じさせた。

文責 三上 賢吾(2)

## 男子400mH

川越 俊幸 (4) 54" 53 (5着)

川越 (4) はスタートからいい飛び出しを見せそのままぐんぐんと加速。9台目の着地で少し崩れかけたが、なんとか持ちこたえ自身のセカンドベストでゴールした。まだまだ本調子ではなかったとのことなので、今後の記録更新に期待したい。

文責 武田 匠平 (2)

## 男子3000mSC

西川 亮 (3) 10' 27" 19 (19着)

二本松 立朗 (3) 10' 30" 28 (21着)

村上 将悟 (3) 9' 59" 84☆ (14着)

村上 (3) は粘りの走りで終盤まで集団に食らいつき、自己ベストを出すことが出来た。しかし、本人は関西インカレの標準を狙っていただけに、悔しい結果となった。西川 (3)、二本松 (3) は中盤までに集団から遅れるなど、実力を発揮できなかった。

文責 高本 雄太 (2)

## 男子4×100mR

大阪府立大学 (倉本 (3) - 嶋田 (3) - 高田 (3) - 中山 (2))

予 42" 58 (5着)

ピンチヒッターで入った中山 (2) であったが、きちんとバトンをもらい、自分の走りをし、責務を果たした。タイムの方も悪くなかった。だが、2～3走でバトンがなかなか渡らず、タイムロスがあった。この失敗を次につなげ、更なる飛躍に期待したい。

文責 太田 智子 (2)

## 男子4×400mR

大阪府立大学 予 (藤原 (3) - 川越 (4) - 大村 (3) - 高田 (3))

決 (川越 (4) - 高田 (3) - 嶋田 (3) - 大村 (3))

予 3' 24" 32 (4着)

決 3' 27" 82 (第6位)

予選では、2走の川越 (4) と4走の高田 (3) の力走により見事決勝進出を果たした。決勝では、1走の川越、2走の高田が良い位置でまわし、3走の嶋田 (3)、4走の大村 (3) が粘って6着でゴールした。

文責 西田 大 (2)

## **男子走高跳**

渡部 翔太 (M2) DNS

片岡 裕 (3) 1 m 8 5 (9位)

片岡 (3) は 1 m 7 5 から最終記録の 1 m 8 5 まですべて 1 本目でクリアすることができた。怪我による練習不足で自己ベストとはならなかったが、収穫の多い跳躍となった。今後の記録に期待したい。

文責 安野 千晴 (2)

## **男子走幅跳**

大黒 貴弘 (4) 6 m 5 3 (-1.0) (第18位)

大黒 (4) は 1 本目から 6 m 台後半の記録を出したものの、納得のいく踏切ができず、その後の跳躍では記録を伸ばすことができなかった。助走・踏切と多くの課題が残る試合となった。

文責 安野 千晴 (2)

## **男子三段跳**

大黒 貴弘 (4) 1 2 m 7 5 (+1.8) (第20位)

大黒 (4) は幅跳びに続いての出場となった。三段跳が専門種目ではなかったせいか、ステップとジャンプで腰がつぶれてしまった。しかし、ホップをしっかりと跳んで 2 本目で 1 2 m 7 5 を出した。三大戦での健闘に期待したい。

文責 西田 大 (2)

## **男子砲丸投**

奥野 照基 (M1) 1 0 m 0 9 (第12位)

砲丸投には奥野 (M1) が出場した。1 投目はタイミングがうまく合わず、2 投目はファウルとなったが、3 投目で 1 0 m を超えるスローを見せた。本人は思うようにはいかなかったと言っていたが、この試合でいい感触を得ることもできたようであった。奥野は多忙で練習があまり積めない状況であるが、これからの活躍も期待したい。

文責 中山 正哉 (2)



# 男子十種競技

山口 裕太 (3) 5727点 (第13位)

**100m**: 11" 97 (-0.2) (657)

前日までの練習では12秒後半かかるなど、不安の残るままの出場となったが、大きなミスなくまずまずの結果となった。

**走幅跳**: 6m31☆ (-1.3) (655)

1本目、2本目で6m60程の大ベストを跳ぶものの、どちらも5cm程ファールで記録がない状態で3本目に臨んだ。得点を残すために慎重になりすぎたが、それでも自己ベストを更新することになった。

**砲丸投**: 9m23 (440)

練習投擲では10m近く投げられており、調子が良さそうであったが、本番ではうまくかみ合わず、自己ベストを1m20下回る自己ワーストの記録となった。昔の感覚を早く取り戻してもらいたい。

**走高跳**: 1m89 (705)

1m70、75で頂点が合わずミスをするものの、そこからの調整が上手くいき、1m89を一発で跳ぶことができた。自己ベスト更新がかかった1m92では惜しくもバーをかすり失敗してしまったが、この種目全体で1位となった。

**400m**: 52" 09 (721)

自己ベスト更新とはならなかったが、安定した走りですいつも通りのタイムとなった。しばらく51秒台を出せていないので、関西インカレでは自己ベストを更新してもらいたい。

**110mH**: 16" 64 (-2.5) (662)

ハードルの練習をしていなかったため、ハードルに突っ込めず力んだ走りとなり、かなり点数を落としてしまった。

**円盤投**: 26m62☆ (398)

練習投擲、1投目といつも通りの力の伝わらない投擲となったが、2投目から急にコツを掴み、自己ベストを更新。3投目でも記録を伸ばすことができた。この感覚を忘れず練習すれば、更に記録の更新が期待できる。

**棒高跳：3m20☆** (406)

ポールを曲げることに初挑戦し、自己ベストの3m20までを一発でクリアできたものの、30cm上がった3m50では、高さが足りず失敗に終わった。ポールの硬さが135で柔らかすぎ反発のタイミングがずれていたなので、今後は他校の人たちに頼み140、145に変えていく必要がある。

**やり投：39m14** (430)

この種目も相変わらず自己ベストを出した時の感覚を思い出せず、力の伝わっていない弾道であった。今後の練習で感覚を思い出してほしい。

**1500m：4'44"31** (653)

自己ベストの5799点を越えるためには4'33"00と、ベストより2秒以上速いタイムを出す必要があったので、最初から先頭で積極的な走りを見せた。しかし、オーバーペースだったために2周あたりで落ち始め、実力を出し切れないレースになった。



十種競技に出場した山口（3）の100mスタート前（写真右から1番目）

## 女子200m

難波 真理 (3) 28" 95 ☆ (+1.8) (5着)

星合 里香 (3) DNS

難波 (3) はスタートからの加速でうまくスピードに乗り、その勢いそのまま直線へ。ラスト50mで少々失速はしたものの、見事自己ベストを更新した。今後の更なる記録更新に期待したい。

文責 武田 匠平 (2)

## 女子走幅跳

前田 玲実 (3) 4m21 ☆ (-1.9) (第20位)

前田 (3) は3本とも4m以上のまとまった記録を残した。向かい風の中2本目で自己ベストとなる4m21をマークし、冬季練習の成果が発揮された試合となった。

文責 安野 千晴 (2)

## 女子やり投

星合 里香 (3) 35m95 ★ (第13位)

星合 (3) は前日に学科の実験などが重なり、万全な状態に整えることはできなかった。しかしながら、試合では大学ベストを72cm上回る素晴らしい投擲を見せた。次の大会では、調子を合わせて自己ベストを上回る投擲を期待したい。

文責 田口 結衣 (2)

《応援・競技に参加していただいたOB・OGの皆さん》

山口さん、甲木さん、中野さん、弓場さん、大仲さん、奥野さん、野本さん

お忙しい中、お越し頂きありがとうございました。

# 第59回大阪三大学対校陸上競技大会

4月19日 金岡陸上競技場

グランドコンディション 晴れ

## 男子100m

(+1.7)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 高津 良平 (市大) 10" 71 | 4. 藤原 宇央 (阪大) 11" 00 |
| 2. 嶋田 祥久 (府大) 10" 96 | 5. 渡部 翔太 (府大) 11" 01 |
| 3. 和田 将志 (阪大) 10" 99 | 6. 森下 雅博 (市大) DNF    |

府大 7点 阪大 7点 市大 6点

スタートから飛び出した嶋田(3)は一気に加速し、そのまま2着でゴール。自己ベストを更新する最高の走りを見せた。渡部(M2)は就活であまり練習できていなかったにも関わらず、自己ベストを更新する走りを見せた。

文責 吉田 拓(2)

## 男子400m

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 藤原 健太郎 (市大) 47" 80 | 4. 山下 祥希 (市大) 50" 57 |
| 2. 高田 昌人 (府大) 48" 88  | 5. 宇畑 雄哉 (阪大) 50" 88 |
| 3. 尾野 礼 (阪大) 50" 19   | 6. 伊藤 駿 (府大) 51" 70  |

府大 6点 阪大 6点 市大 9点

高田(3)は前半から果敢に攻め、最後まで粘りのある走りをした。47秒台のベストを持つ市大の藤原にラストは離されてしまったが、臆することなく勝負を仕掛け、府大を大いに盛り上げてくれた。伊藤(3)はラスト100mで力尽き、いつもの粘りのある走りはできなかった。本人も満足できない走りをしてしまったと悔いていた。次の試合では満足のいくレースができるよう頑張ってもらいたい。

文責 太田 智子(2)

## 男子1500m

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 大竹 宏明 (阪大) 4' 07" 54 | 4. 木場 翔一郎 (市大) 4' 09" 36 |
| 2. 亀坂 晃司 (市大) 4' 08" 16 | 5. 村上 将悟 (府大) 4' 10" 02  |
| 3. 三根 享 (阪大) 4' 08" 46  | 6. 西川 亮 (府大) 4' 10" 56   |

府大 3点 阪大 10点 市大8点

落ち着いた展開でレースがスタート。村上(3)、西川(3)ともに集団の後方についていく。1200mを過ぎて村上がスパートを仕掛けるが、他大学にもう一段スパートをかけられた。村上、西川は必死に順位を上げようとするも、届かずそれぞれ5位、6位となった。

文責 高本 雄太(2)

## 男子5000m

- |                          |                           |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 出原 祥磨 (市大) 15' 25" 56 | 4. 小倉 涼太 (市大) 16' 19" 73  |
| 2. 森田 崇聖 (阪大) 15' 32" 12 | 5. 二本松 立朗 (府大) 16' 50" 41 |
| 3. 酒井 健 (阪大) 15' 42" 22  | 6. 勝見 涼一 (府大) 16' 57" 89  |

府大 3点 阪大 9点 市大 9点

勝見(3)は集団に付き、最初の1000mを3分5~6秒で通過するが、その後が続かず離されてしまった。急遽出場が決まった二本松(3)は自分のペースで走り、順位争いはできなかったものの自身の大学ベストを更新。まだまだ記録を伸ばせると語り、今後の躍進に期待したい。

文責 三上 賢吾(2)

## 男子4×200mR

- |   |
|---|
| 1. 大阪市立大学 (藤原 - 高津 - 木野 - 西岡) 1' 28" 37                 |
| 2. 大阪府立大学<br>(嶋田(3) - 高田(3) - 川越(4) - 渡部(M1)) 1' 28" 52 |
| 3. 大阪大学 (井面 - 高塚 - 國田 - 藤原) 1' 29" 19                   |

府大 5点 阪大 4点 市大 6点

1走の嶋田(3)がスタートから積極的な走りを見せるも、バトンパスでミスをしてしまい、市大と離される展開に。高田(3)、川越(4)と繋ぎ、アンカーの渡部が必死の追い上げを見せるが、あと一歩及ばず2着でゴールした。

文責 武田 匠平(2)

## 男子走高跳

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 渡部 翔太 (府大) 2 m 0 0  | 4. 竹澤 直樹 (市大) 1 m 8 0 |
| 2. 片岡 裕 (府大) 1 m 8 5   | 5. 吉武 真人 (阪大) 1 m 8 0 |
| 3. 日谷野 義希 (阪大) 1 m 8 0 | 6. 加納 弘喬 (市大) 1 m 4 5 |

府大 11点 阪大 6点 市大 4点

走高跳には渡部 (M2) と片岡 (3) が出場し、見事に1位、2位を獲得した。渡部は2 m 0 0まで安定した跳躍を見せたが、2 m 0 5は3本ともバーに腰が当たってしまい成功とはならなかった。片岡は1 m 8 5までは危なげない跳躍を見せた。しかし、1 m 9 0は1本目、2本目と踏切が合わず、3本目は、踏切はあったもののバーに足が引っ掛かり成功とはならなかった。両選手とも今後の試合でレベルアップした跳躍を見せてくれることに期待したい。

文責 大住 陽香 (2)



男子走高跳に出場した渡部 (M2) の跳躍

## 男子走幅跳

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 渡辺 祥 (阪大) 7 m 1 0  | 4. 大黒 貴弘 (府大) 6 m 6 8 |
| 2. 岩波 智之 (市大) 6 m 6 9 | 5. 菅沼 佑太 (市大) 6 m 5 4 |
| 3. 西田 拓展 (阪大) 6 m 6 8 | 6. 山口 裕太 (府大) 5 m 9 5 |

府大 4点 阪大 10点 市大 7点

大黒(4)は決勝でまずまずの跳躍をしたものの2位にあと1cm及ばず、大混戦ではあったが惜しくも4位に終わった。山口(3)は調子が上がらず、6mに届かなかった。高レベルな戦いの中で残念ながら勝負に絡むことはできなかった。

文責 西田 大(2)

## 男子三段跳

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 岩波 智之 (市大) 1 4 m 7 5 | 4. 門脇 駿 (阪大) 1 3 m 1 3  |
| 2. 渡辺 祥 (阪大) 1 4 m 7 0  | 5. 片岡 裕 (府大) 1 3 m 1 0  |
| 3. 大黒 貴弘 (府大) 1 3 m 1 7 | 6. 加納 弘喬 (市大) 1 1 m 9 7 |

府大 6点 阪大 8点 市大 7点

両選手とも専門種目ではなかったものの、健闘した。大黒(4)はホップ、片岡(3)はステップとジャンプをうまくまとめて、13m台を記録した。阪大と市大の三段跳専門選手に対し無難に3位、5位を獲得した。

文責 西田 大(2)

## 男子砲丸投

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 中澤 密 (阪大) 1 0 m 6 6  | 4. 山口 裕太 (府大) 9 m 8 4 |
| 2. 田中 貴大 (市大) 1 0 m 3 9 | 5. 崎 勘太郎 (阪大) 8 m 6 5 |
| 3. 奥野 照基 (府大) 1 0 m 3 1 | 6. 上野 智博 (市大) 8 m 1 6 |

府大 7点 阪大 8点 市大 6点

奥野(M1)は10m越えを叩き出したが、2位とわずか8cm差で3位という結果だった。山口(3)は前回の反省を踏まえ調子を整えてきたが、10mまで惜しくも届かず4位となった。まだシーズンが始まってすぐなので、両選手とも今後の活躍に期待したい。

文責 田口 結衣(2)

## 男子円盤投

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 中澤 密 (阪大) 37m21  | 4. 山口 裕太 (府大) 28m40 |
| 2. 岩波 智之 (市大) 30m47 | 5. 和田 将志 (阪大) 27m76 |
| 3. 芦田 凜 (市大) 28m74  | 6. 吉田 拓 (府大) 18m67  |

府大 4点 阪大 8点 市大 9点

吉田(2)は急な参加となり、限られた時間の中でできる限りの練習を積んだが、残念ながら経験の壁を覆すには至らなかった。山口(3)はビッグスローを1本ファウルしてしまったものの、この種目の自己ベストを更新した。両選手ともまだまだベスト更新の余地があると思われるので、これからの活躍に期待したい。

文責 中山 正哉(2)

## 男子やり投

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 神田 直仁 (阪大) 60m30 | 4. 嶋田 祥久 (府大) 50m28 |
| 2. 中澤 密 (阪大) 59m69  | 5. 西岡 勇人 (市大) 48m09 |
| 3. 上野 智博 (市大) 59m13 | 6. 山口 裕太 (府大) 43m91 |

府大 4点 阪大 11点 市大 6点

嶋田(3)は100mの直後ということもあり、疲労が残っている状態だったが、50mを超える力強い投擲を見せた。山口(3)はやりの軌道がやや低いように感じられたが、記録としては悪いものではなかったので、今後に期待したい。

文責 吉田 拓(2)

## 女子100m

(+2.8)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 河口 悠 (市大) 12"84   | 4. 山下 真由子 (阪大) 13"45 |
| 2. 脇本 沙友美 (阪大) 12"95 | 5. 宝徳 奈津美 (府大) 13"66 |
| 3. 江角 香菜 (市大) 13"20  | 6. 星合 里香 (府大) 13"84  |

府大 0点 阪大 4点 市大 6点

宝徳(4)は就活の影響で万全の状態とは言えず、星合(3)も専門外種目ということもあり、苦しいレースとなった。両者ともスタートで出遅れ、前の選手との差を詰めることができないままゴール。他校の選手は持ちタイム的にも上であり、実力差が如実に出たレースとなった。

文責 武田 匠平(2)



## 女子4×200mR

1. 大阪大学 (山下 - 馬越 - 櫻井 - 脇本) 1' 50" 82
2. 大阪市立大学 (河口 - 江角 - 宿院 - 高岡) 1' 51" 68
3. 大阪府立大学  
(星合 (3) - 宝徳 (4) - 前田 (3) - 難波 (3)) 1' 55" 33

府大 0点 阪大 4点 市大 2点

1走の星合(3)が勢いよくスタートし、阪大と変わらない位置で宝徳(4)へ。粘り強い走りで前田(3)に繋ぐが、じわじわと差を広げられ、難波(3)も差を詰めることができずそのままゴールした。

文責 武田 匠平(2)

## 女子走幅跳

1. 馬越 美鈴 (阪大) 4m 72
2. 河口 悠 (市大) 4m 68
3. 江角 香菜 (市大) 4m 42
4. 田村 麻有 (阪大) 4m 26
5. 星合 里香 (府大) 4m 26
6. 前田 玲実 (府大) 4m 13

府大 0点 阪大 5点 市大 5点

前田(3)は助走で足が合わず苦戦したが、その後修正し自己ベスト近い記録をマークした。星合(3)は4着の選手と同記録ではあったものの得点を獲得することができず悔しそうであった。

文責 西田 大(2)

## 女子砲丸投

1. 星合 里香 (府大) 8m 88
2. 馬越 美鈴 (阪大) 8m 31
3. 河口 悠 (市大) 7m 39
4. 森田 葵 (阪大) 7m 20
5. 高岡 侑未 (市大) 6m 87
6. 前田 玲実 (府大) 5m 99

府大 4点 阪大 4点 市大 2点

昨年大会記録を更新した星合(3)がセカンドベストを出して優勝した。前田(3)は投げごとに少しずつ記録を伸ばしていったが、得点圏に届くことはできなかった。

文責 田口 結衣(2)

総合得点

男子対抗

	大阪府立大学	大阪大学	大阪市立大学
トラック合計	24	36	38
トラック順位	3	2	1
フィールド合計	36	51	39
フィールド順位	3	1	2
総合得点	60	87	77
総合順位	3	1	2

女子対抗

	大阪府立大学	大阪大学	大阪市立大学
トラック合計	0	8	8
トラック順位	3	1	1
フィールド合計	4	9	7
フィールド順位	3	1	2
総合得点	4	17	15
総合順位	3	1	2

オープンの部

100m	倉本 惇嗣 (3)	1 1" 7 2	(+ 0. 7)
	藤原 吉司 (3)	1 1" 7 0	(+ 2. 2)
	中山 正哉 (2)	1 1" 8 2	(+ 0. 9)
	内賀嶋 陽史 (府大OB)	1 1" 1 6	(+ 2. 5)
200m	倉本 惇嗣 (3)	2 3" 9 4	(+ 1. 7)
	藤原 吉司 (3)	2 4" 0 0	(- 1. 0)
	中山 正哉 (2)	2 3" 9 9	(+ 1. 7)
400m	中野 友揮 (4)	5 4" 2 6	
	武田 匠平 (2)	5 3" 2 1	

800m	中野 友揮 (4)	2' 13" 98
	武田 匠平 (2)	2' 10" 77
1500m	大松 達也 (3)	4' 49" 61
5000m	甲木 孝弘 (M2)	17' 38" 84
	小槻 日出夫 (4)	16' 43" 91
	村上 将悟 (3)	16' 28" 42
	村岡 隆幸 (府大AC)	18' 18" 57
	木下 健次 (府大AC)	17' 44" 07
	平野 明 (府大OB)	18' 50" 23
	山本 篤史 (府大OB)	18' 44" 45

4×200mR 妖怪ふすま倒し  
(村上(3) - 世田(阪大3) - 山口(市大3) - 勝見(3))  
1' 48" 82

さすガッス。がしまさん  
(中野(4) - 内賀嶋(府大OB) - 大黒(4) - 甲木(M2))  
1' 47" 84

走幅跳 南田 太 (府大OB) 5m20 (+1.4)

砲丸投 船引 規正 (府大OB) 10m19

円盤投 南田 太 (府大OB) 26m76

《応援・競技に参加して頂いたOB・OGの皆さん》

山口さん、船引さん、村岡さん、平野さん、福西さん、南田さん、辻本さん、山本さん、木下さん、岡本さん、武田さん、赤坂さん、甲木さん、山下さん、弓場さん、渡部さん、内賀嶋さん、大仲さん、奥野さん、野本さん、保科さん

お忙しい中、お越し頂きありがとうございました。

## 第91回関西学生陸上競技対校選手権大会

4月22日 ヤンマーフィールド長居周回

5月7～10日 ヤンマースタジアム長居  
グランドコンディション

4月22日 曇り 18.0℃

5月7日 晴れ 24.0℃

5月8日 晴れ 24.3℃

5月9日 晴れ 24.3℃

5月10日 晴れ 22.6℃

### 男子100m

嶋田 祥久 (3) 予 11" 10 (-1.1) (3着)

嶋田 (3) はスタートダッシュから加速までの足運びはうまくいった。しかし、後半の40mでは向かい風に加え力みが出てしまい、惜しくも10秒台に乗ることはできなかった。

文責 安野 千晴 (2)

### 男子200m

嶋田 祥久 (3) 予 22" 28 (-2.4) (3着)

準 22" 33 (-1.0) (6着)

嶋田 (3) は予選から力走し、プラスで拾われて準決勝になんとか残った。準決勝では実力者に力の差を見せつけられたレースとなったが奮闘した。2本とも風に恵まれず、運を味方にできなかった。

文責 西田 大 (2)

## 男子400m

大村 駿弥 (3)	予	49" 96☆	(5着)
高田 昌人 (3)	予	48" 64	(2着)
	準	49" 76	(4着)
	決	48" 23	(第4位)

大村(3)は万全の調子ではなかったが、力強い走りを見せ自己ベストを更新した。また本人は今回の結果に満足していないようで今後にも期待できる。高田(3)は危なげなく予選を通過したが、準決勝では予選の疲れからかスピードに乗り切れず、全体の8番目のタイムでの決勝進出となった。決勝では前日の疲れを感じさせない走りでも自己ベストに迫る記録を残したが、惜しくも4着となった。

文責 吉田 拓 (2)

## 男子800m

中野 友揮 (4)	予	2' 07" 10	(7着)
伊藤 駿 (3)	予	1' 59" 33	(6着)
	準	1' 57" 96	(6着)
駒井 智己 (1)	予	1' 59" 86	(4着)

中野(4)は就活開け2度目となる試合で、本調子とは程遠い結果であった。しかし、三大戦よりもタイムを縮め、だんだんと調子を戻しているのので、次の試合に期待したい。伊藤(3)は前半からいい感じで走っていたが、ラスト200mで他校の選手にペースを乱され、まずまずのタイムとなってしまった。しかし、プラスで拾われ準決勝にコマを進められた。駒井(1)は大学のデビュー戦であったが、前半から物怖じせず果敢にとばし、後半300mでばててしまったものの、将来が期待できるレースだった。

文責 太田 智子 (2)

## 男子1500m

甲木 孝弘 (M2)	DNS		
西川 亮 (3)		4' 06" 73☆	(8着)

4分一桁台を出すと意気込んで臨んだ西川(3)は、冷静に周りの選手に付いていき、イーブンペースで3周回った。ラスト300mでスパートをかけ、A標準にあと一步迫るタイムでゴール。宣言通り一桁台を叩き出し、自己ベストを大きく更新。府大に勢いをもたらす快走であった。

文責 三上 賢吾 (2)



男子1500mを走る西川（3）（726）

## 男子5000m

三上 賢吾（2） 17' 32" 04 （33位）

三上（2）は怪我から復帰して最初のレースであった。春先のレースに出場できなかった悔しさを晴らすようにと意気込んで臨んだが、最初の1000mを越えて一気にペースダウン。苦しい走りとなりつつもしっかり走り切ったが、ラストも思うようにレースを上げることができず、彼らしい粘り強い走りをする事ができなかった。

文責 大住 陽香（2）

## 男子400mH

川越 俊幸（4） 予 55" 67 （4着）

山口 裕太（3） 予 54" 81☆ （2着）

決 54" 78☆ （第5位）

川越（4）は前半からうまく集中できず、不完全燃焼のレースになってしまった。調子よく来ているので、次の試合では満足のいく結果を出してほしい。山口（3）は7台目でテンポがずれたものの最後まで粘り、自己ベストで決勝に進出した。決勝では、スタートから積極的な走りをし、自己ベスト再更新とA標準突破を果たし、5位に食い込んだ。

文責 太田 智子（2）

## 男子3000mSC

村上 将悟 (3) 10' 06" 99 (17位)

村上 (3) は集団の後方に付き、1000mを3分10秒前後で通過しいいスタートを切った。しかし2000m手前で急激に失速し始め、表情にも苦しさが見てとれた。コンディションには気を遣っていたが結果が伴わず、本人も原因が分からないようであった。今後の練習で修正し、9分台に繋げてほしい。

文責 三上 賢吾 (2)

## 男子4×100mR

大阪府立大学 予 (倉本 (3) - 嶋田 (3) - 高田 (3) - 渡部 (M2))

決 (大黒 (4) - 嶋田 (3) - 中田 (1) - 渡部 (M2))

予 41" 73 (2着)

決 42" 25 (第7位)

予選では倉本 (3) が好スタートを見せ、そのままの勢いでバトンが渡り、組2着で決勝進出を決めた。決勝では予選からメンバーを2人入れ替え、バトンに多少の不安がある中でのレースとなったが、メンバー全員が最高の走りを見せた。特に中田 (1) は大学デビュー戦ながら堂々とした走り、自分の役目を全うした。

文責 吉田 拓 (2)

## 男子4×400mR

大阪府立大学 予 (大村 (3) - 川越 (4) - 伊藤 (3) - 高田 (3))

決 (大村 (3) - 伊藤 (3) - 山口 (3) - 高田 (3))

予 3' 18" 21 (2着)

決 3' 17" 53☆ (第6位) 府大記録!

予選では大村 (3) がスタートから積極的な走りをして勢いに乗ると、余裕をもったレース運びで府大記録に迫るタイムを出し決勝にコマを進めた。決勝では大村、伊藤 (3) が攻めの走りをすると、川越 (4) の代わりに出場した山口 (3) が粘り強い走りをみせ、アンカー高田 (3) が力走し、府大記録を更新。6着でゴールした。

文責 武田 匠平 (2)

## 男子走高跳

渡部 翔太 (M2) 1 m 9 6 (第4位)

片岡 裕 (3) 1 m 9 3 ☆ (10位)

昨年2位の渡部 (M2) と片岡 (3) が出場。片岡は大舞台で見事自己ベストを更新したが、惜しくも入賞は果たせなかった。渡部は絶不調で本来の記録を出すことができず、惜しくも表彰台に乗ることはできなかった。

文責 西田 大 (2)

## 男子走幅跳

大黒 貴弘 (4) 6 m 6 0 (+0. 5) (11位)

男子走幅跳に出場した大黒 (4) は風が舞う悪天候に見舞われ、助走の調整が上手くいかず1、2本目はファウル。3本目では6 m後半の記録を残したものの、決勝進出はならなかった。

文責 安野 千晴 (2)

## 男子砲丸投

奥野 照基 (M1) 1 0 m 4 2 ☆ (14位)

奥野 (M1) は自己ベストを大きく更新する大変素晴らしい投擲を見せた。今シーズンに入ってから右肩上がりぐんぐんと記録を伸ばしているため、更なる自己ベスト更新に期待したい。

文責 田口 結衣 (2)

## 男子10種競技

山口 裕太 (3) 5 5 8 3 点 (第8位)

1 0 0 m : 1 2 " 1 7 (+0. 0) (618)

苦手とするスタートで出遅れ、スピードに乗り切ることができず、12秒を切るできなかった。中間疾走における腰の低さが課題であると考えられる。

走幅跳 : 5 m 7 5 (+1. 5) (533)

膝の痛みの影響でしっかり踏み切ることができず、着地もうまくできていなかった。ファウルはなかったものの、記録の悪さに本人も全く納得していなかった。



**砲丸投**：9 m 8 8 (4 7 8)

ミスなく3投こなすも、10 m越えとはならなかった。足を痛めており、体調が万全とはいえなかったものの、シーズンベストをマークしているので、今後に期待したい。

**走高跳**：1 m 8 0 (6 2 7)

1 m 7 5を2回失敗し、まさかと思われたが、プレッシャーに打ち勝ち3本目をきっちり決めた。1 m 8 0を見事一発で決めたものの、痛めている膝が災いし、続く1 m 8 3では2本踏切できず、3本目も失敗。得意種目で点数を稼ぐことができなかった。

**400m**：5 1" 4 8 ☆ (7 4 8)

同じ組に実力者が多くいたため、前半からうまく引っ張ってもらい流れに乗ることで見事自己ベストを更新した。

**110mH**：1 6" 4 2 (+0. 0) (6 8 6)

全体的に力んでおり、着地から次の動作までがスムーズではなかった。スプリント能力が低いことも原因の一つであると考えられる。

**円盤投**：2 3 m 6 2 (3 4 1)

1投目、3投目とファールで、いい時の感覚が思い出せていないようだった。記録の残った2投目も本人の納得のいく投げにはならなかった。

**棒高跳**：3 m 4 0 ☆ (4 5 7)

左手の角度などの課題は残ったものの、ポールの硬さを変えたことにより反発をうまく受けることができ、見事ベストを更新した。

**やり投**：3 9 m 0 8 (4 2 9)

1、2投目は助走の歩幅が合わず、修正するのに苦労しているようだった。3投目には3 9 m 0 8という結果だった。

**1500m**：4' 4 2" 3 5 (6 6 6)

入りの300 mを53秒とまずまずの出だしを見せたものの、中盤に上がり切れず4' 4 2" 3 5という結果となった。

## 女子やり投

星合 里香 (3) 37m88☆ (24位) 府大記録!

星合 (3) は1投目から37m88をマークし、自己ベスト、そして府大記録を更新した。2, 3投目では記録更新とはならなかったものの、安定してこれまでのベストである35m台を出した。星合は4年ぶりとなる自己ベスト更新に喜びながらも、さらに上を目指すという意気込みを見せた。これからのさらなる飛躍に期待したい。

文責 中山 正哉 (2)

## 対校得点結果

男子2部総合得点 大阪府立大学 19点

男子2部トラック得点 大阪府立大学 14点

男子2部フィールド得点 大阪府立大学 4点

男子2部混成得点 大阪府立大学 1点 第5位

《応援・競技に参加していただいたOB・OGの皆様》

渡辺さん、山口さん、笠井さん、志儀さん、中田さん、北川さん、西野さん、藤間さん、山下さん、弓場さん、渡部さん、内賀嶋さん、大仲さん、奥野さん、勝山さん、野本さん、保科さん

お忙しい中、お越し頂きありがとうございました。

### 3. その他の試合結果

学連長距離ロード記録会 2月8日 長居第2陸上競技場・周回コース

ハーフマラソン	北川 直昭 (3)	1 : 22' 36
	大松 達也 (2)	1 : 25' 37
	勝見 涼一 (2)	1 : 12' 57
	西川 亮 (2)	1 : 18' 50
	村上 将悟 (2)	1 : 11' 15
	三上 賢吾 (1)	1 : 15' 52

第7回大阪体育大学中長距離競技会 2月23日 浪商学園陸上競技場

男子1500m	西川 亮 (2)	4' 15" 63
	大松 達也 (2)	4' 54" 25
男子10000m	勝見 涼一 (2)	34' 24" 11

第3回学連競技会 3月13日、14日 西京極陸上競技場

男子100m	内賀嶋 陽史 (4)	11" 74 (+2. 1)
	嶋田 祥久 (2)	11" 35 (+3. 1)
男子400m	大村 駿弥 (2)	52" 89
	武田 匠平 (1)	54" 47
男子5000m	勝見 涼一 (2)	16' 51" 70
男子110mH	内賀嶋 陽史 (4)	15" 48 (+4. 3)

第7回大阪体育大学競技会 3月22日 浪商学園陸上競技場

男子100m	嶋田 祥久 (2)	11" 22☆ (+1. 3)
	中山 正哉 (1)	11" 83☆ (+1. 3)

男子200m	川越 俊幸 (3)	22" 91	(+1. 7)
	嶋田 祥久 (2)	22" 85	(+1. 5)
	中山 正哉 (1)	24" 28	(+0. 5)
男子400m	伊藤 駿 (2)	52" 19	
男子400mH	川越 俊幸 (3)	57" 54	
男子走幅跳	大黒 貴弘 (3)	6m 18	(+0. 8)

**第1回大阪陸上競技記録会** 4月6日 ヤンマーフィールド長居

男子200m	川越 俊幸 (4)	22" 93	(+3. 5)
男子1500m	二本松 立朗 (3)	4' 17" 01	
	村上 将悟 (3)	4' 16" 97	
男子5000m	勝見 涼一 (3)	17' 01" 98	
男子400mH	山口 裕太 (3)	56" 93	

**第78回京都学生陸上競技対校選手権大会** 4月11日、12日 西京極陸上競技場

男子400mH	山口 裕太 (3)	55" 98	
---------	-----------	--------	--

**第1回大阪体育大学競技会** 4月12日 浪商学園陸上競技場

男子100m	藤原 吉司 (3)	11" 73☆	(+0. 9)
	中山 正哉 (2)	11" 79☆	(+0. 2)
男子200m	嶋田 祥久 (3)	22" 74	(+1. 2)

**第2回大阪陸上競技記録会** 4月12日、13日 ヤンマーフィールド長居

男子100m	渡部 翔太 (M2)	11" 22	(+0. 1)
	川越 俊幸 (4)	11" 46	(+1. 9)
	嶋田 祥久 (3)	11" 19☆	(+0. 1)
	倉本 惇嗣 (3)	11" 64	(-0. 2)

男子400m	川越 俊幸 (4)	50" 15
	武田 匠平 (2)	52" 98

男子5000m	大松 達也 (3)	18' 24" 63
	勝見 涼一 (3)	16' 29" 53

男子3000mSC	西川 亮 (3)	9' 55" 79☆
	二本松 立朗 (3)	10' 19" 50★
	村上 将悟 (3)	9' 47" 11☆

男子走高跳	渡部 翔太 (M2)	1m95
-------	------------	------

**第1回大阪体育大学中長距離競技会** 4月26日 浪商学園陸上競技場

男子1500m	二本松 立朗 (3)	4' 16" 98☆
---------	------------	------------

**大阪陸上競技カーニバル** 4月27日 ヤンマーフィールド長居

男子100m	渡部 翔太 (M2)	10" 92☆	(+1. 3)	府大記録!
	嶋田 祥久 (3)	11" 13	(-1. 3)	

男子800m	伊藤 駿 (3)	1' 56" 80
--------	----------	-----------

男子5000m	村上 将悟 (3)	16' 18" 31
---------	-----------	------------

男子走高跳	渡部 翔太 (M2)	1m90
-------	------------	------

女子やり投	星合 里香 (3)	34m21
-------	-----------	-------

第2回大阪体育大学競技会 5月24日 浪商学園陸上競技場

男子100m	渡部 翔太 (M2)	1 1" 0 1	(+ 0. 5)
	大村 駿弥 (3)	1 1" 7 9	(- 0. 1)
男子200m	渡部 翔太 (M2)	2 2" 7 0	(- 0. 3)
	大村 駿弥 (3)	2 3" 0 9	(+ 0. 4)
男子走幅跳	大黒 貴弘 (4)	6 m 6 6	(+ 1. 0)

## 4. 今後の目標と反省

### 短距離パート

新たなシーズンが始まり、大阪インカレ、三大戦、関西インカレの3つの大きな試合が終了しました。今シーズンは開始直後から自己ベストを更新している選手が多く、大阪インカレにおいても自己ベスト更新者が3名おりました。特に、前年度の試合に出場する機会に恵まれなかった嶋田（3）と大村（3）はその後の試合でも記録を更新しておりパート全体としては非常に活気づいております。三大戦では短距離パートとしては100mが2位と5位、400mが2位と6位でその合計得点は三大学ともに13点となる互角の戦いでした。また、4×200mRにおいては惜しくも2位となったものの府大記録を更新することができました。関西インカレにおいては個人種目では大村（3）が400mで自己ベストを更新、リレー種目において4×100mR・4×400mRがともに決勝進出を果たし、4×400mは前年度よりも順位を落としたものの、タイム自体は府大新記録でありました。しかし、短距離総合での得点は14点と前年度を下回っていることや、各種目での出場者が少ないことなどはパート全体として改善に取り組みたいです。これから夏の季節に入り、残る二つの対校戦や秋の種目別大会においてよりよい結果が出せるよう、短距離パート一丸となって努力していきますので、今後とも応援よろしくお願ひします。

文責 短距離パート長 高田 昌人（3）

### 中距離パート

中距離パートは春から新たに駒井（1）が加わり、また中野（4）も就職活動を終えたためここ数年で中距離パートとしては多い3人の体制となりました。全員関西インカレの標準を突破していることから関西インカレで1人でも多く決勝へ進出することを目標に春のスタートを切りました。春先に行われた大阪インカレ、三大戦では中野、伊藤（3）ともに思うようなタイムが出ずに、苦しいシーズンインとなってしまいました。関西インカレでは府大で唯一800mが3人出場種目となり中距離パートのレベルアップを実感しました。しかし、結果としては伊藤が準決勝進出、中野、駒井は予選敗退と決勝進出者は0人でした。来年こそ悲願の決勝へ進出すべくこれから1年頑張っていきたいと思ひます。また、マイルリレーでは伊藤が昨年引き続きメンバーとして決勝に進出し、府大新記録を出すも表彰台へは届きませんでした。この悔しい思ひを胸にしっかりと練習を積み、夏の首都大戦、六公立戦、また秋の種目別では個人そしてマイルリレーで府大記録の更新をめざし、府大に貢献したいと思ひます。今後とも応援よろしくお願ひいたします。

文責 中距離パート長 伊藤 駿（3）

## 長距離パート

大阪インカレ、三大戦、関西インカレという3つの大きな試合がありました。大阪インカレではシーズン初レースの選手がほとんどで冬期練習の成果を発揮するには絶好の機会でしたが、自己ベストを更新したのは村上（3）のみで上位に入賞した選手もおらず、非常に物足りない結果となってしまいました。三大戦では、1500m、5000m共に5位6位と、長距離種目で阪大、市大に大きく負け越してしまいました。関西インカレでは西川（3）、村上、三上（2）の3名が出場しました。3000mSCに出場した村上、5000mに出場した三上は総合最下位と非常に不甲斐ない結果に終わりましたが、1500mに出場した西川が自己ベストを大幅に更新し、決勝進出まであと1秒と善戦しました。昨年から出場者は減りましたが、標準突破者は昨年の5名から7名に増えました。A標準を突破し、長距離パートから出場者を増やすことが今後の課題です。昨年度までと違い、絶対的なエースが不在というチーム状況ですが、7月の首都大戦では主戦力である3回生を中心に総力を挙げて昨年叶わなかった長距離種目での勝ち越しを果たしたいと思っておりますので、応援よろしくをお願いします。

文責 長距離パート長 村上 将悟（3）

## フィールドパート

今年の大カレは3月に合宿と学連記録会が重なったため、多くの方が初戦となりました。ここでは前田が走幅跳でベスト記録を更新し、片岡（3）と星合（3）もベストに近い記録を残したので、シーズン始まりの試合としてはまずまずなスタートだと思います。次の三大戦では、特に投擲種目の人数不足から奥野（M1）のほかに短距離パートから援助してもらいましたが、走高跳以外の結果はあまり奮わず。それでも、渡部（M2）はベストタイの2mを一発クリア。大黒（4）は走幅跳こそ奮わなかったものの三段跳においてベスト記録を更新、片岡も初出場ながら三段跳において大黒に迫る結果となりました。女子の部では星合が砲丸投で大会記録にほぼ並ぶ8m88で優勝しました。最後の関カレには走高跳2名、走幅跳1名、砲丸投1名、女子やり投げ1名とここ数年における中で最少出場者数となってしまいました。入賞も渡部の4位のみであり、フィールドの部で11位に沈みました。自己ベストを出している選手もいるなかでそれがポイントに結びついていない現実であり、これからますますの精進が必要であると感じさせられる試合となりました。以上3試合の概要でしたが、昨年度や一昨年度に比べると記録の低迷は避けられません。しかし、現役選手は着実にベスト記録を出しているので、これからの記録の伸びに期待したいです。また、昨年度0名だった新生が今年は走高跳1名、三段跳1名入部してもらえました。ポテンシャルとしては十分期待できるので、これからの主要な試合で吉報をお届けできるようにフィールドパート一丸となって頑張っていきたいと思っております。

文責 フィールドパート長 片岡 裕（3）



# OB会費納入者リスト

## 平成26年度納入者

鈴木勝夫	秋山邦彦	伊勢木洋昭	岸田迪夫	藤野国美	渡辺和生
小寺俊英	白井啓次	坂野由規子	脇田和樹	山口尚夫	加藤広和
三木成夫	宮田光章	小寺隆弘	佐々木正博	村岡隆幸	中村俊幸
濱谷修一	平野明	福西茂樹	南田太	辻本隆宏	外山哲明
山本篤史	中島公德	道家樹	北野政明	牧之瀬直美	明井政博
小林友	中川智克	川瀬勝	土井佐規	山本昌孝	中嶋遼
門垣大樹	岡本真	千住哲平	富永明日香	二反田松平	大林航
新田真也	野々口諒一	林伸明	藤井嵩久	藤原英司	大石真由香
小川瑠美	武田大輝	中田洸樹	赤坂証典	坂口知己	刀祢光
中野智典	藤本祐美	山中敬雄	弓場大介		

6月20日現在、以上のOB、OGのみなさんからご支援をいただきました。多くのご支援、ご協力ありがとうございました。さて、先日行われました関西インカレでは多くの選手が自己ベストの更新等の活躍を見せてくれました。今年も11名の新入生を迎え、日々活気に満ちた練習を行っています。これからは首都大戦において優勝カップを取り戻せるよう練習に励みたいと思います。今後とも府大陸上部をよろしくお願い致します。

OB会では会費納入方法について会員の納入手続きの簡便のため、またOB会での事務処理軽減のため金融機関からの自動引き落としを推奨しています。銀行、郵便局、農協などほとんどの金融機関の利用が可能です。ご希望の方は以下の連絡先までご連絡ください。自動振込利用申込書をお送りいたします。よろしく願いいたします。

連絡先：

住所 〒599-8531

堺市中区学園町1番1号 大阪府立大学 陸上競技部OB会

お振り込みの際は、今回同封させて頂いた振り込み用紙をお使い下さい。1口1000円で、社会人の方は8口以上、院生の方は6口以上でよろしく願いいたします。